

ワークショップや不要品回収…

能代で環境保全考えよう



アースデー能代への来場やクラウドファンディングへの協力を呼びかける生徒たち

高校生企画 きょうから催し

環境保全を考えるイベント「第5回アースデー能代2026」が25、26の両日、能代市で開かれる。「地球に輝きを」をテーマにワークショップや不要品回収、講演会などが行われる。

能代高校と能代科学技術高校の生徒を中心としたアース

デイ能代実行委員会の主催。地球環境を考える国際的記念日の「アースデー」（4月22日）に合わせて2022年から毎年開いている。

初日は午前10時から市役所さくら庭や大会議室を会場に開催。里山の苗木ポット、生ごみの堆肥作りなどのワーク

ショップ、使わなくなったおもちゃや絵本、コンタクトレンズのケースなど不要品を回収する。

長野県北相木村でかんなくずを活用した造花「キノハナ」の製造を行う坂本皓太さんは市内の木製建具事業者から無償提供を受けたかんなくずを利用したカーネーション作りを指導する（500円）ほか、午後4時半からは市柳町の旧料亭金勇で講演する。

実行委代表の山本理恵さん（能代高3年）は「坂本さんのワークショップをきっかけに木都能代らしい取り組みにしていきたい」と期待する。

2日目は午前9時に市役所駐車場に集合し、市中心部の清掃活動を実施。午前10時半からはロードフロンティア（東京）の並木将央代表によるセミナーを行う。一般2千円、高校生以下無料。

実行委はイベント開催経費40万円を目標にクラウドファ

ンディング（CF）を実施中で、返礼品には手作りのエコたわしや野菜の詰め合わせなどを用意した。CFの準備を担当した金子千寛さん（能代高2年）は「環境問題について考えてほしいと活動に取り組んでいる。相手に響くよう

考えた文章を掲載しているの
でCFサイトを見てもらいた
い」と話す。
詳細はCFサイト専用サイ
ト「CAMPFIRE（キャン
プファイヤー）」から「ア
ースデー能代」で検索する。
（今井正一）